

先端研究施設共用促進事業
利用成果報告書

利用形態： トライアルユース
課題番号： 120531-01

利用課題名： 金属部品の溶接部熱影響調査
利用者名： 協和工業(株)

利用施設： 名古屋工業大学 大型設備基盤センター
利用装置： FE-EPMA
利用期間： H24. 5. 31～H24. 7. 6

背景と利用目的：

金属溶接部の硬度指定が一部オーバーしていると川下企業から指摘。社内マイクロビッカスで確認したが現象確認できないため依頼

実験・解析方法：

EPMA分析(二次電子像)、定性分析を依頼

成果の概要：

電子顕微鏡でマイクロビッカスの打点を再検証、(図-2)のように接点距離でも打点の大きさが異なる現象が把握できた(硬度比較)

社会、経済への波及効果の見通し：

溶接部硬度は全体に指定硬度内にあり、硬度が高く衝撃等に弱いとは言えない。使用上の問題ないと判断。

論文発表状況・特許出願： なし

参考文献： なし

成果公開延期の希望の有無： なし

